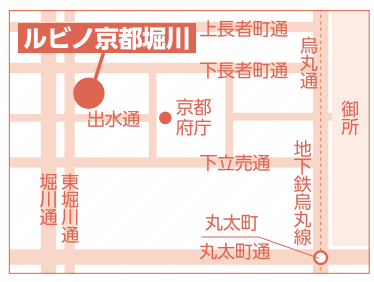


# 「民泊」と京のまちを 考えるつどい

## 京都を「住み続けられる町」にするために

日時 | **1月27日(土)** 13:30~開会  
場所 | **ルビノ京都堀川・平安の間**  
(東堀川通り下長者町通下ル)



市内各地で「民泊」と呼ばれる宿泊施設をはじめ、小規模から大規模まで様々な規模のホテルが建設ラッシュです。住民との間で様々なトラブルも発生しています。

ホテル用地需要が住宅価格を押し上げ「京の子育て世代流出」(京都新聞 12月5日)と報道されるほど、京都市内が住みにくくなっています。

にもかかわらず安倍政権は、規制緩和によって、「届け出」だけで、住宅を宿泊施設に転用可能にする「民泊新法」を成立させてしまいました。2018年6月施行です。

「このままでは京都が京都でなくなる」  
この「民泊」・宿泊施設の激増問題とともに、「住み続けられる京都」にするために、まちづくりの未来を考えるつどいを開催することとしました。

参加費は無料です、ぜひご参加ください。

### 報告者



参議院議員  
**倉林明子**



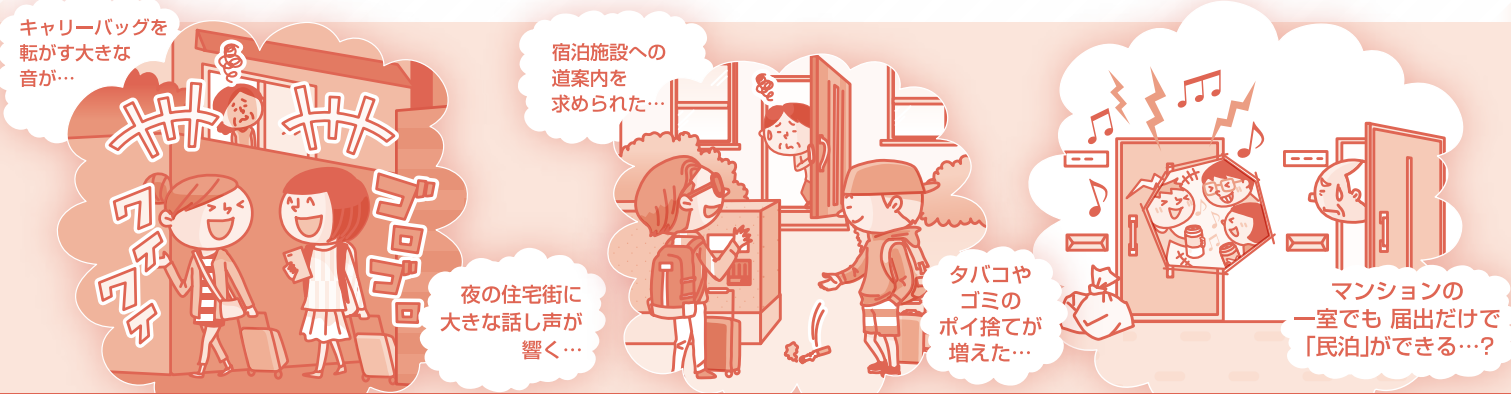
衆議院議員 日本共産党国会対策委員長  
**こくた恵二**

- 日本共産党京都市会議員 **くらた共子**
- 日本共産党京都府会議員 **馬場こうへい**
- 旅館・ホテル経営者の方
- マンション管理組合関係者
- 「民泊」施設ができて困っている町内会の方の発言を予定しています



日本共産党京都市会議員団では、住民の立場から「民泊」施設への対応方法を解説したハンドブックを作成しました。

日本共産党京都市会議員団まで  
TEL.222-3728



キャリーバッグを  
転がす大きな  
音が...

宿泊施設への  
道案内を  
求められた...

夜の住宅街に  
大きな話し声が  
響く...

タバコや  
ゴミの  
ポイ捨てが  
増えた...

マンションの  
一室でも 届出だけで  
「民泊」ができる...?